

北方地域

北方はほぼ全域が砂漠に覆われている。かつては魔道文明の中心地だったが、魔道大戦の時にこのような砂漠が広がったといわれている。

北方の国家

カハシュ都市連合 (連合)

北方の独立勢力

学術都市エレンヴァース

銀の神殿 (タナルス教団)

黄金都市 (チャルザック記念会)

北方の亜人間種族

砂の都ヴァーディ (砂ドワーフ)

北方のヒューマン民族

北方の砂漠に古くから住む民族もまた、その砂漠の名を取って"ジヒト"と呼ばれている。縮れた茶色系の髪、黒い瞳、浅黒い肌が特徴である。

寡黙で実直な性格と思われていたが、北方商人の活躍を見るにつけ、実は話をするのが苦手と言うわけではないことが明らかになっている。信義を重んじて誓いや約束を違えることが我慢できないのだが、そうした気質も最近は失われつつあることを嘆く高齢者が多い。

ジヒト民族の血を最も濃く受け継いでいる人々は、都市に住まず昔ながらの方法で砂漠内で生活している。彼らは特別に"砂弓の民"と呼ばれ、北方では敬意を払われている。「寡黙で実直」「信義を重んじる」という気質も、彼らの間では非常に強く残っている。

北方の地勢

"ジヒト砂漠"という砂原に覆われた地域。古代魔法文明の中心地がこの地域には存在していたのだが、魔道大戦の折、膨大な魔力を使った影響で、現在のような乾ききった大地になってしまったと伝えられている。実際、この砂漠には数多くの遺跡が存在し、いまだ砂に埋もれて人の目に触れられていないものが多いと考えられている。

気候は典型的な現実世界の砂漠と同じで、日中は非常に暑く、日が沈むと非常に寒くなる。一年を通して季節の変化はほとんど無く、雨が降ることも無い。砂漠における天候の変化とは、すなわち風の強弱の変化であり、死者が出るほどの猛烈な砂嵐が起きることもしばしばである。北方辺境(=北の果て)に行くほど吹き荒れる風の勢いは増してゆき、遂には前が見えないほどの砂嵐となる。その中に入って無事出てこれた者はいない。

砂漠にはオアシスが点在している。また、一般的なオアシスよりも遥かに大きな湖も幾つか確認されており、その周辺に都市が建設される例も多い。はっきりと発見されているのは、"銀の神殿"とエレンヴァースが隣接する"銀の湖"・ヘ＝カハシュが隣接する"カハシュ湖"・ポルワードが隣接する"金の湖"・ヴィシュが隣接する"砂塵の湖"、それにドワーフの地下都市"砂の都ヴァーディ"が隣接する"ドワーフの水がめ"である。

この砂漠の地下には古代魔法文明の遺跡だけでなく、豊富な宝石鉱脈が眠っていることでも知られている。事実、この砂漠には宝石細工を専門とするドワーフの都市があり、そこから技術が伝わったこともあってか、宝石細工が重要な特産品となっている。

なおわずかな南部地域は砂ではなく、乾いた土の平原となっている。そこには背が低いものばかりだが多少は植物も生えている。海から来る湿った空気がこうした土地を形成する原因になっていると考えられている。この地域では雨が降ることはないが湿った霧に一帯が覆われることはある。北方に住む人々はこれを " ジヒトの雲 " と呼んでいる。

北方の歴史

古代魔法文明の中心地はこの北方だったといわれる。魔道大戦では魔族との激しい戦いの中で、高度な魔法戦闘が何度も繰り広げられ、その余波からこの地は砂漠に覆われることになった、というのが現在の歴史家たちの共通認識である。もっとも、具体的な原因となると、意図せぬ大きな事故のためだった、などの諸説が入り乱れている。いずれにしても、この砂の奥には無数の遺跡が埋もれており、手付かずのものもまだまだあることは間違いない。

砂漠と化した後、そこに住む者の数はおそらく激減したと思われる。それでも遅く砂の中で生活する人々はいた。古代魔法文明の遺跡を求める者や、宝石などの豊富な地下資源を求める者などである。彼らは、各地に点在するオアシスや、構造がしっかりした古代魔法文明の遺跡などを拠点に活動を行っており、これが北方都市の原型となっていった。だが、国家といえるほどの規模を持った都市が現れ始めるのは、350 年代以降のことになる。

ヒューマンの都市国家が出来るまでは、砂ドワーフの宝石細工が北方の特産品だった。現在でもドワーフの細工は世界中で人気があるが、その技の一部は北方のヒューマンたちにも伝えられ広められていった。

またタナルス教団の総本山である " 銀の神殿 " は、300 年代以前からこの地に建造されており (一説では古代魔法文明時代からの建造物でもある)、北方を訪れるのは、ドワーフの宝石細工を求める者と、" 槍の神殿 " に巡礼するタナルス信者が大半。残りのごく一部は古代魔法文明の遺跡を探索するのが目的だったといわれる。

北方でヒューマンが大きな勢力として結実したのは、408 年のことで、この年に現在の同盟の原型が、カハシュ 3 都市によって結ばれた。以後、これが発展拡大していくことになる。ここから派生した商人達の互助組織が、現在では " 大ギルド " と呼ばれ、リアスターグでも指折りの規模と発言力を持った機関となっている。

[幻想世界リアスターグ](#) > [地理](#) > [北方](#)
